

(主査総括書式)

(項目)

該当する場合右寄せで→ (平成00年度未了分)

大項目 (14ポイント・ゴシック体・中央)

中項目 (12ポイント・ゴシック体・中央)

小項目 (12ポイント・ゴシック体・中央)

【主査総括】 (12ポイント・ゴシック・中央)

(担当場所)

(12ポイント、ゴシック・右詰め・担当場所間には中点)

(総括文)

(11-12ポイント・明朝体)

- 試験目的を簡潔に、試験が継続されている場合は前年度までの結果概要も書く。
- 各試験薬剤毎に成果に基づく考察を書く。
- まとめとして普及に当たっての留意点、問題点を具体的に書く。

[主査 九防太郎]

(右寄せ)

上下左右マージン：25mm 程度
1 ページ 40 行、1 行 40 文字程度

(ページ番号は付けない)

(様式例)

5. ミカンハダニの防除対策

2) ハウスにおけるマシン油乳剤の効果的な使用法

【主査総括】

担当場所：佐賀果試・長崎果樹部・熊本果研・大分津久見
・宮崎総農試・鹿児島果樹部

ハウスみかん園のミカンハダニに対する各種マシン油乳剤の防除効果、本剤の散布が樹体に及ぼす影響（糖度、酸度、着色、急性的な落葉）および薬害や油浸斑の発生などを検討し、マシン油乳剤を利用したミカンハダニの効果的な防除技術の確立を図ることを目的として本試験を実施している。昨年は加温、無加温ハウス、ガラス室および網室などの条件下においてミカンハダニの防除試験が実施され、マシン油乳剤による高い防除効果と防除適期が再確認されたものの、果実品質への悪影響と薬害の発生が認められた。そこで本年は果径 25mm の時期での使用を中心に検討を行った。

アタックオイル 400倍（佐賀、宮崎） 200倍（大分、鹿児島）

ミカンハダニが極小発生条件下にある加温ハウスの果径 25mm の時期の興津早生（佐賀）、小～中発生条件下にある加温ハウスの果径 30mm の時期の宮川早生（宮崎）に対して本剤 400 倍を 1 回散布した結果、・・・・・・・・

ハーベストオイル 400倍（佐賀、長崎） 200倍（鹿児島）

ミカンハダニが極小発生条件下にある加温ハウスの果径 25mm の時期の興津早生（佐賀）、多発条件下にある加温ハウスの果径 25～20mm の時期の宮川早生（宮崎）に対して本剤 400 倍を 1 回散布した結果、・・・・・・・・

まとめ

各種マシン油乳剤のミカンハダニに対する防除効果を・・・・・・・・

[主査 九防太郎]